

スクールサポートとは、地域の人材を学校につなげ、学校教育の活性化、子どもの健やかな成長の支援を目的とした大田区の取り組みです。

雪谷地区では、雪谷小・小池小・池雪小で取り組まれています。特に雪谷小学校では「夏のワクワクスクール」として、ダンスや水泳などのスポーツ・実験・工作・音楽など色々な講師を招いてワークショップを開催しています！

子どもたちと地域



「はるのはなさいた あさのひかりきらきら おはよう おはよう みんなともだち いちねんせい」(なかがわえりこ)

1ページ目の文です。何の文でしょう？正解は、小学校一年生の国語の教科書です。私の頃は「サイタサイタ」だったでしょうか？遙か遠い記憶となりました。

さて、今年の黄色い帽子の子ども達も、今は通学路にも慣れ、楽しそうに、時には道草しつつ、登下校をしているようです。

ある町では、通学路付近の方々に、子どもたちの通学時間である8時から20分ほどの間、花の水やりや、ゴミ出し、ワンちゃんのお散歩などをお願いし、外への意識を向けて頂いたそうです。それが自然と、子ども達の通学時間への心配り、声掛けと発展し、子ども達も地域の方々に見守られながら、安心して登校できるようになったとか…。地域力はちょっとした意識の高まりで、自然に育っていくことが理想かもしれません。

さて大田区では、本年度より、小中全校で『学校支援地域本部』を設置することになりました。これに先駆けて何校かでは、すでに充実した取り組みがなされています。

雪谷小学校でも、真夏のワクワクスクール、又外国語指導支援などいろいろな事を行っています。皆様のご協力を得ながら、子ども達の笑顔を増やそう、そして先生方の一助になればと、微力ながら活動しております。

どうぞ“ふれあい雪谷”愛読者の皆さまにも雪小並びに地域の応援団として、様々な場面でお力添えを頂きたいと思います。

『若草のごと 伸びゆかん♪』(雪小校歌)子ども達の清々しい芽がすくすくと伸びる土壌は、地域力にあると信じてやみません。

活動内容等詳細については雪小、又は 090-4794-4839 (本部長 山内) 迄お願いします。

(石川台・A.U)

職員の異動について

4月1日付で、雪谷特別出張所職員の異動がありました。西尾窓口サービス担当係長、星野紀子、齋藤光恵が他所へ、田子満佐代が退職いたしました。

新たに佐藤窓口サービス担当係長、篠條弘之、喜屋武英明が赴任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

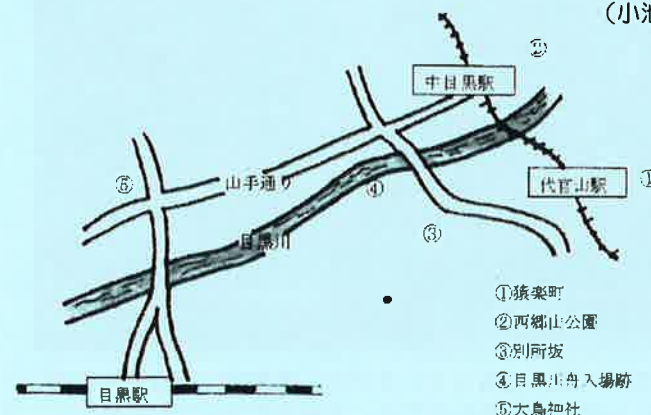
カメラ担いで江戸散歩



カメラ仲間4人で東京の街を散策している。今回は近くを歩く事にした。東横線代官山から目黒線目黒まで約7km、代官山駅は先日線路の移動のニュースがTVで報じられてホームを出たすぐ上に以前の線路が残っていて異様な感じがした。駅前には若者の街だがこれから江戸の町に向かう。猿楽町の石仏群そこから少し歩いたところに古代住居跡、どんどん進んで、西郷山公園。ここは八重桜が満開、カメラのシャッターを押した。

猿楽塚古墳・ここから狭い道をくねくねとまわり地蔵の道しるべ・富士塚・馬頭観音等目黒から麻布そして江戸城に向かうという急な別所坂を下り目黒川に、そこは目黒川舟入場跡で川幅も広く荷物の荷上げをした所らしい。目黒川の桜も今年は早く咲き今は葉桜で青葉も美しいが写真にはならない。次は山手通りをわたり正覚寺・中目黒八幡そして坂を上り祐天寺、藤の花が満開でいい匂いがした。馬喰坂を下る、途中に長泉院というお寺の境内に彫刻美術館があり屋外に沢山の彫刻が飾ってあった。最後に酉の市で有名な大鳥神社が最終地点。歩いた歩数1万8千歩。この散歩の写真は同行の東雪谷在住の大森さんのホームページでご覧ください。アドレスは『東京江戸散歩写真倶楽部』。(同行者は東雪谷の若林さん、大森さん、山王の関本さん)

(小池・江崎洋)



編集後記

本誌の編集方針に若干の変更がありました。従来は「私の健康法」「母校の思い出」等のテーマが決まっていた、そのテーマに沿った内容で執筆依頼していました。今春からは予め決められた枠を取り払い自由な内容で執筆していただくことになりました。編集側としては、執筆者と相談しながら何を書いていただくかをその都度決めねばならず難しさも予想されます。今後しばらくはこの方針で進めますので皆様方の御協力をお願いいたします。

(笹丸・荒井啓治)

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
(1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)
[発行日] 平成25年(2013年)あさがお号 7月1日(通巻・第91号)発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集]「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html

ふれあい雪谷

平成25年 7月 あさがお号 通巻第91号

雪谷特別出張所管内(平成25年4月1日現在)

世帯数/28,836世帯(対前年比 984世帯増) 総人口/59,905人
男/29,001人(対前年比885人増)・女/30,904人(対前年比914人増)



東雪 西本 頼雄さんの作品

母さん助けて詐欺

今まで使われていた「振り込め詐欺」にかわる新名称が5月12日「母の日」に発表されました。14,000件を超える公募の中から、被害者になることが多いお母さんに注意を呼びかけるために選ばれた言葉だと思います。

一向に減らない「母さん助けて詐欺」について、皆さんも今一度考えてみてください。皆さんの中にも、「オレオレ」等と電話がかかってきた事があるかもしれません。その様とき、何を第一に考えるでしょうか。被害に遭われた方の中には、「ご家族と信じてしまい「家族の恥は他の人に知られたくない」「お金で解決できれば」などと考えてお金をATMに振り込んだり、取りに来た人に渡してしまっているのではないのでしょうか。

昨年一年間、田園調布警察署管内で1億4,000万円を越える被害がありました。この被害額を見てどう思われますか。何かの名簿等を利用して、家族の名前や電話番号で息子などになりすまし、数多くの人に電話をかけているようです。大半の方は詐欺の電話であることがわかり電話を切ります。

また、中には騙されたふりをして110番通報し、お金を取りに来た犯人を捜査員が逮捕しています。

銀行等で多額の振込みをしようとした時、銀行から警察に電話があり、水際で被害を食い止めることができた例もありました。

- ご家族の「携帯電話番号が変わった。」「お金がすぐ必要だ。」という電話は、ご家族の元の電話番号に確認の電話を試みる。
- 「還付金があります。」という内容は、関係機関に確認してみる。



このような電話がかかってきた時は、まずご家族に話して相談してみたり、警察へ電話していただければ、未然に防ぐことができます。どうか、「母さん助けて詐欺」の被害に遭わないようにしてください。

(田園調布警察署中谷駐在所・青島義博)

8月25日(日)

「子供夏祭り」を開催します。

8月25日(日)午後2時より池雪小学校の校庭において、東雪自治会と上池上自治会、池雪小学校PTAと共催で実施します。幼児から小学生まで、お友達や家族のみなさんの参加をお待ちしています。参加費無料。ゲーム内容／パターゴルフ、輪投げ、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、おもしろ手作りコーナー、その他焼きそば、かき氷もあります。



ほう ほう ホータル来い♪

私が通う大森第六中学校では、3年前に「ホタル復活プロジェクト」を始めました。昔、洗足池で見ることができたホタルを自生させるために幼虫を校内で飼育して放流するという取り組みです。

横浜ホタルの会会長の丸茂さんに幼虫をいただいてから、プロジェクト開始。放流までの間、自然科学部が毎日欠かさず水替え・えさやりを担当します。そして、6月頃になると六中のボランティア団体「農援隊」が育った幼虫を洗足池に放流するのです。

しかし、昔のように水・空気・土がきれいな環境でなくてはホタルは自生できません。そのため農援隊では空芯菜で水質浄化をしたり、洗足池の周辺を清掃したりと様々な活動をしています。この成果が実り、昨年はのべ100匹以上のホタルを見ることができました。近所の方が「ホタルを見ることができたよ。きれいだった。」と声をかけてくださった時は、とても嬉しかったです。

ホタルの光が池に明りを灯す光景は、心に自然の財産をあたえてくれるすばらしいものです。7月上旬から中旬の20時が見頃です。ぜひホタルを見にいらしてください。きっと心に残るすばらしい光景がまっています。

(大森第六中学校3年・仲瀬春菜)



六中は勝海舟別邸跡に建っていますが、農援隊は坂本龍馬由縁の海援隊にちなんだ命名とのこと。大岡山駅前の芝桜の植えこみ、節電対策のゴーヤカーテンの活動等地域活性化の頼もしい存在です。(編集・柏)

駒込かいわい

爽やかな五月の風に誘われて散歩に出かけた。六義園から根津神社まで躑躅を見ながら東京の昔と今を探索しようという計画である。緑溢れる六義園で柳沢吉保の美意識に感動し、本郷通りを進めばかの有名な吉祥寺の門前が出る。愚かな少女も時を経れば、お七・吉三郎の比翼塚となって手厚く祀られている。吉祥寺には二宮尊徳や榎本武揚の墓もあり、ベクトルのまったく異なる3人が同じ寺にねむっているのも面白い。通りをへだてた南谷寺は五不動の一つ目赤不動である。目白・目黒の両不動は山手線の駅名にもなっているがここはそこまでメジャーではない。お不動様にも運・不運があるらしい。一本道はずれば、林芙美子や夏目漱石の旧居跡がある。漱石記念館の塀の上には金属製の可愛い猫が歩いている。

名前さえつけてもらえなかった猫のあれこれを思い出しながら坂を下ればもうそこは根津神社である。生憎躑躅の花の盛りは過ぎていたが、境内は人があふれ屋台も活気に満ちている。雪ヶ谷八幡の祭礼もこれくらい人出があると嬉しいネなどと夫婦で話せば3時間程の散歩も終了である。神社の隣の蕎麦屋がめったにないくらい美味しかった事も一応報告しておく。

(希望ヶ丘・加藤文子)



「子どもガーデンパーティー」が開催されました。

4月21日(日)土砂降りの雨のため、残念ながら大森第六中学校の体育館にて縮小プログラムでの開催となりました。そんな雨にも関わらず体育館外では長蛇の列、各コーナーも大行列の盛況ぶり子どもたちは大喜びでした。また、都立雪谷高校チアリーディング部の演技も大盛況でした。各関係団体の方々には早朝からご協力いただきましてありがとうございました。

参加者 計1,659人

(子ども719人 おとな292人 協力者648人)

この人紹介!

今回は南雪谷4丁目にお住いで青年劇場所属の富田祐一さんをご紹介します。活動の場は、映画・テレビ・舞台など多方面で、その特技は「東北弁」で語る温もりです。日本新劇俳優協会「朗読ミニフェスティバル」に於いて最優秀賞を受賞しています。



東日本大震災の復興を

願いながら語り続ける

富田祐一

私は南雪谷に住んで46年。雪谷の商店街の景色も、静かな住宅街の家並みも大きくは変わっていません。とても好きな町です。

最近気がかりで仕方ないのは、2011年3月11日の三陸海岸を襲った大地震が、大津波となって東日本各地を襲い未曾有の被害をもたらした事です。

私の故郷は、岩手県奥州市(旧水沢市)です。内陸でも大きな地震があっ

たばかりで心配でした。三陸に住む友人知人と無事の連絡が取れたのは一週間ぐらい経ってからでした。

テレビは異常な事態を報じ、東京電力福島原子力発電所の爆発、放射能漏れ事故を知らせてきます。私の所属する劇団が30年以上前に上演した「臨海幻想」の舞台と同じ惨事が起こってしまいました。安全神話が崩れた瞬間でした。昨年から私たちは「臨海幻想2011」として全国公演を続けているところです。

5月31日(金)は、鈴鹿景子事務所主催「心がたり」東日本大震災応援公演としてお江戸日本橋亭で語りました。

6月30日(日)は、日本俳優連合・ドラマの方を考える会主催「昔むかしあったとさ」日本各地の方言による昔話を、青年劇場スタジオ「結YUI」で公演しました。地方出身俳優の大集合です。

また、石川啄木・宮沢賢治作品《ひとり語り》、出前公演も企画しています。